

<児童発達支援>事業所における自己評価表の集計結果

事業所名:Wish宮の森

公表日:令和5年3月27日

職員数 6 人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・活動毎に利用スペースを調整するなどして安全配慮に努めております。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・指定基準の配置に加えて職員数を配置しております。 ・児童発達支援のサービス提供にあたっては利用児数に対して概ね必要数のスタッフを配置しております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・絵カードなどを用いて視覚的に指示を示すほか、スケジュール等はいつでも確認が出来るよう掲示物にて提示しております。 ・建物の構造上バリアフリー化が困難な箇所がありますが、必要に応じて適時環境調整を図ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・日々清掃を行い、合わせて消毒を行うことで美化と安全に努めております。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・会議等の打ち合わせの機会を通じて業務を振り返り評価する機会を設けております。 ・昨年度同様に常勤のスタッフでの会議機会が多いため、全スタッフの共有を図れるよう努めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者の皆様からいただいた意見をもとに必要な改善が図れるよう対応いたします。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページにて公開しております。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・現在第三者評価の機会を設けておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・定期的な研修機会を設け各スタッフが研鑽を図り、資質向上を目指しております。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・保護者様からの情報収集をはじめ、利用時における状況を把握し、情報共有のうえ支援計画を作成しております。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・独自の様式を用いて実施しております。実態により合わせられるよう適時様式の見直し等を行います。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・お子様や保護者様の希望とサービス等利用計画などに応じて課題と取り組みを細分化した支援計画を設定し支援を行っております。 ・支援計画の立案は児童発達支援管理責任者を中心としながら各スタッフの意見等を含め設定しております。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・支援計画を各スタッフが把握のうえ日々の支援にあたっております。 ・打ち合わせ時に情報共有を図り状況の把握に努めております。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・提供する活動(制作、運動遊び、空手、サッカー、その他イベント)毎に担当職員を設定しております。 ・プログラムの担当職を中心として内容を設定しながら、各スタッフからの意見を踏まえ内容を見直しております。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・お子様が楽しめる内容を検討し、意欲的に取り組めるようはたらきかけております。 ・お子様が高い意欲をもって取り組むために飽きに繋がらないよう継続と調整を行っております。

適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		・一日の活動の中で個別活動と集団活動を提供してまいります。 ・お子様や保護者様の希望に沿って、適切な支援機会を設けられるよう支援計画を設定しております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・毎日必ず打ち合わせを実施しております。 ・支援開始前の打ち合わせのほか、前日に予定を共有し当日の業務を円滑に取り組めるよう対応しております。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・支援終了後に必ず打ち合わせを行い、情報の共有を図り、課題の確認を行っております。 ・支援の幅が広がるよう各スタッフの考えなどの共通理解を図っております。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・利用毎に支援経過を記録しております。記録は個別支援、集団支援の内容のほか、身体拘束の有無についても記載しております。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・一定の期間毎に児童発達支援管理責任者がモニタリングを実施し、他のスタッフとの共有を図っております。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・主に児童発達支援管理責任者が参加しておりますが、状況に応じて他のスタッフの参画機会も設けております。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		・必要に応じて児童相談所等との連携を図っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			・医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。 ・今後、ご利用の希望があった際は関係機関との連携を密にし、情報共有のうえで適切な支援を行えるよう取り組みます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			・医療的ケアが必要なお子様のご利用はありません。 ・今後、ご利用の希望があった際は関係機関との連携を密にし、情報共有のうえで適切な支援を行えるよう取り組みます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・保護者様や関係機関からの要望等に応じて情報共有を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		・保護者様や関係機関からの要望等に応じて情報共有を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・保護者様や関係機関からの要望等に応じて情報共有を図っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	・感染症予防により積極的に機会を設けておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	・感染症予防により積極的に機会を設けておりません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・送迎時に利用時の様子等をお伝えするとともに、LINEやメール、電話等にて状況をお伝えしております。 ・LINEのご登録をいただいている保護者様には利用時の写真を定期的にお送りしております。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		・保護者様やお子様のご意見やご相談に応じて、状況の把握に努め対応方法の検討を行っております。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約手続き時に書類をもとにご説明しております。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・保護者様やお子様の希望等をもとにガイドラインに則り個別支援計画を作成しております。 ・個別支援計画は保護者様に同意をいただいております。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者様からのご相談等に適時対応しております。良い結果が導き出すため共通理解と課題共有が深められるよう努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・感染症予防により機会を設けておりません。 ・今後必要に応じて検討いたします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・保護者様やお子様のご意見等に応じて対応をしております。引き続き保護者様とお子様との関係を深め、気軽にご相談いただけるよう努めます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・毎月会報誌を発行し行事の予定等をお伝えしております。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・守秘義務を順守し、個人情報に関する書類は鍵付きの書棚に保管しております。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・お子様が理解しやすい手段を用いるとともに、適時お子様の理解に至っているか確認し対応しております。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・感染症予防により積極的に機会を設けておりません。 ・今後状況等に応じて地域の皆様との関係を深められるよう検討致します。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・各マニュアルを策定しスタッフがいつでも目を通すことが出来るよう整備しております。 ・感染症については保護者の皆様が事業所における状況を把握出来るよう情報発信を行い、安心してご利用いただけるよう努めております。 ・感染症予防の観点及び日常活動機会の確保のため訓練は小規模の実施としておりますが、今後状況等に合わせて内容等を検討致します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		・非常災害時における対応等について検討等を行っております。 ・感染症予防の観点及び日常活動機会の確保のため訓練は小規模の実施としておりますが、今後状況等に合わせて内容等を検討致します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・保護者様にお聞きした情報をもとに状況把握に努め日常的な配慮を心掛けております。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者様にお聞きした情報をもとに状況把握に努め日常的な配慮を心掛けております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・日々の打ち合わせ時に状況の確認を行い、対応方法等について検討しております。 ・重大事故に繋がらないよう引き続き事故想定を欠かさず対応に努めます。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止に関する研修を定期的実施しております。研修時には各スタッフがセルフチェックを行い日常的な支援について振り返る機会を設けております。 ・他の機関等における虐待事例や事故等に関する状況についても打ち合わせ時に取り入れ、自事業所で同様のケースが生じないか検討しております。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・身体拘束に関する規則に沿って対応をいたします。 ・身体拘束に関しても虐待防止同様に定期的な研修を実施し理解を深め意識を保つことが出来るよう対応しております。